

名古屋オルガンの秋presents

パイプオルガンと聖歌による クリスマスのお話

シンプルだけど本物!

今年のクリスマス・イブは 教会のクリスマスのお祝いを
愛知県芸術劇場コンサートホールで!

シスターが朗読する 聖書によるクリスマスのお話とシスターによる祈りの聖歌。
そしてグレゴリオ聖歌にパイプオルガン。
とってもシンプルだけど 本物の聖夜の喜びと幸せを お届けします。

《クリスマスの聖歌》

- ・荒野のはてに
- ・まきびとひつじを
- ・もろびとこぞりて
- ・きよしこの夜

《ソプラノ独唱》

サン＝サーンス
アヴェ・マリア

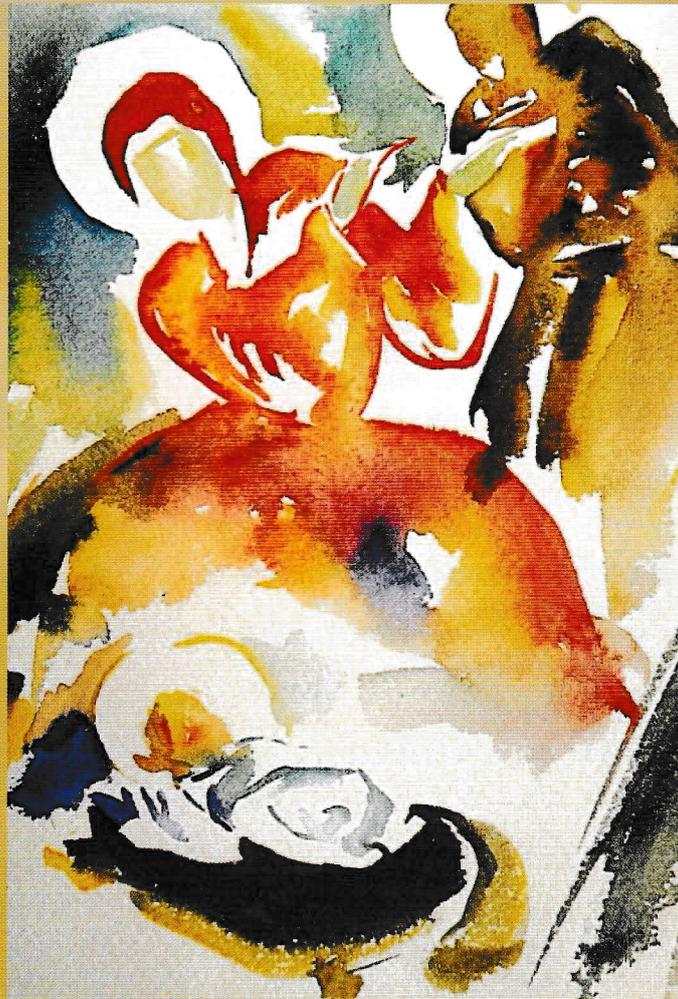
《グレゴリオ聖歌》

今日キリストは
お生まれになった

《パイプオルガン作品》

- J. S. バッハ
目覚めよと呼ぶ声あり
- L. - Cl. ダカン
ノエル
- C. ザットラー
「いそぎ来たれ」
による変奏曲より

他



聖書朗読

シスター 村上多美代
(聖霊奉侍布教修道女会)

ソプラノ独唱

シスター 伊藤晶
(聖霊奉侍布教修道女会)

グレゴリオ聖歌

名古屋グレゴリオ聖歌を
歌う会

パイプオルガン

吉田文

2023年12月24日 (日) 18:30開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

入場料 2000円

入場料売り上げ10%が一般社団法人カリタス南相馬を通して
福島復興支援ボランティア活動へ寄付されます

18:00開場

19:45終演予定

全席自由席

チケット取り扱い 二宮音楽事務所 052-505-0151

チケットぴあ / 市内各プレイガイド Pコード 245-086



西ヨーロッパのキリスト教会では12月25日の4週間前の日曜日（今年は12月3日）からクリスマス前日の12月24日までの時期を、キリストの降誕を待ち望み、私たちの心の準備をする時期として、「待降節（アドヴェント）」と呼びます。クリスマス象徴として「ろうそくの光」がよく使われますが、クリスマスが近づくにつれて増してくる「光」は「世の光」として降誕するキリストを象徴するだけでなく、降誕とそして再臨をも待ち望む希望が増していることも表しています。

12月25日が本来のキリストの生誕のお祝いである「主の降誕の祭日」、いわゆるクリスマスであり、1月6日の直後の日曜日まで「降誕節」は続きます。本来の祝日である25日ではなく24日に「クリスマスイヴ」として祝われる伝統は、祝日前日の夕方・夜中より既に教会で祈りが捧げられていたことに依ります。

元は、ローマ帝国で274年の12月25日に「不滅の太陽神の生誕」を祀る神殿が奉納され、以来12月25日という日がローマ帝国の大きな国祭日となったのに対し、キリスト教会はこの日を「真の太陽・光」のこの地上に於ける公現、即ち「キリストの生誕日」として祝うようになったようです。

愛であり、光である神は、創造物である人間を無限の愛で包容します。私たちもその神の愛の一部で在りえること、その愛によって神のいのちとして迎え入れることができるように、神が神の子であるイエス・キリストを人として、人間の救いのために遣わした記念。これがキリスト教会の祝うクリスマスです。

「パイプオルガンと聖歌によるクリスマスのお話」ではサンタクロースもトナカイも登場せず、ドラマチックな演出もありません。しかし、普段より祈りの生活に身を捧げられているシスター方の朗読と祈りの歌とともに、クリスマスがもたらす世界の平和と私たちの心の喜びを、極めてシンプルに率直に、言葉と音楽の響きを通して皆様の心にお届けしたいと思います。

聖書朗読

シスター 村上多美代 Tamiyo MURAKAMI

世界51か国の教育・医療・社会福祉・霊的援助の分野で奉仕しているカトリックの修道会、聖霊奉侍布教修道女会に所属している。2004年まで聖霊病院付属看護専門学校 専任教員、副校長を務める。看護専門学校閉校にあたり、聖霊病院カトリック事業室室長となり臨床パストラルカウンセラーとして、患者、家族スタッフの心のケアにあたる。その傍ら、ホスピス聖霊設立に携わる。

2009年に日本管区責任役員に就任し、この間、2012年に東日本大震災とこれに伴う福島第一原子力発電所事故のあった南相馬市に新たに共同体を開き、被災者支援のために活動を開始。2018年責任役員の任期を終え、南相馬市に居を移し、一般社団法人カリタス南相馬を拠点に奉仕活動をしている。

ソプラノ

シスター 伊藤晶 Aki ITO

北鎌倉女子学園高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。鎌倉市学生音楽コンクールにおいて鎌倉音楽クラブ賞受賞、横浜市新人演奏会に出演。これまでに中村浩子、児島百代、佐藤眞弓の各氏に師事。聖霊奉侍布教修道女会会員として日本、メキシコ、チリで音楽教育及び教会音楽奉仕に携わる。2014年から2018年には合唱指揮も務め、愛知県および中部合唱コンクール、声楽アンサンブルコンテスト全国大会（福島市）等に参加。

現在、南山学園聖霊中学・高等学校非常勤講師。コンセールC会員。

パイプオルガン

吉田文 Aya YOSHIDA

名古屋生まれ。中学卒業と同時に単身渡独。ケルン国立音楽大学カトリック教会音楽科、並びに大学院パイプオルガン科を卒業。A級カトリック教会音楽家国家資格及びドイツ国家演奏家資格取得。ヨーロッパ各地でも活発な演奏活動を続けており、コンツェルトハウス・ベルリンをはじめとする各地のオルガンコンサート・フェスティバル等に多々招聘されている。

平成27年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞、令和3年度名古屋芸術奨励賞受賞。名古屋音楽大学非常勤講師（パイプオルガン）、南山大学非常勤講師（教会音楽）。名古屋オルガンの秋実行委員会主宰。

名古屋グレゴリオ聖歌を歌う会

南山大学エクステンションカレッジ講座「グレゴリオ聖歌を歌いましょう」（講師：吉田文）のメンバーを中心に発足。2013年名古屋オルガンの秋でのコンサート「グレゴリオ聖歌とパイプオルガン」以来、オルガンコンサート、クリスマスコンサートに出演。祈りの音楽であるグレゴリオ聖歌の心を探求し、体現することを目的として研鑽を積み重ねている。



「カリタス南相馬」は原発から25キロ地点に所在しています。その前身を「カリタス原町ベース」と言い、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故の復興支援ボランティア活動の拠点として開設されました。

2016年12月に現在地に移転し、名称を「カリタス南相馬」と改めました。

2021年震災後10年経過したとはいえ、原発事故による被害はまだ復興の途上にあり、これからも長く、そして、これまで以上に地域の方々とともに歩いていくために「一般社団法人 カリタス南相馬」として発足しました。

これまで多くのボランティアや現地を学ぶために多くの方が訪れています。

<https://caritasms.com/>
<https://www.facebook.com/caritas.minamisoma/>

